

# チラカゲロウ

*Isonychia japonica*

チラカゲロウ科



チラカゲロウ（幼虫）

魚類

## 名前の由来

チラの由来は不明。カゲロウは成虫での寿命が短いため、はかなく消える陽炎になぞらえたとされている。  
漢字名：チラ蜉蝣

底生動物

## 形態的特徴

**幼虫の特徴**：体長約18mm。全体に黒褐色。体は紡錘型で、泳ぐのに適した形をしている。背面正中線上に淡色の縦縞がある。エラは葉状、尾は3本で体長より短い。前肢に長い剛毛列がある。

赤褐色で前肢は黒色、中・後肢は黄白色。翅は透明。尾は2本あり、白色で基部は褐色である。

**類似種と見分け方**：フタオカゲロウ科の仲間。  
フタオカゲロウ科の前肢には長い剛毛列が無い。

**成虫の特徴**：体長約16～18mm、開翅長約36～40mm。体色は

両生類  
爬虫類

トンボ

## 生息環境・分布

上流域から中流域まで広く生息する。流心の流れの速いところを好む。

国内分布は、日本全土。

北海道内では、普通に分布。

**分布**：国外分布は、朝鮮半島・ロシア極東部。

十勝地方では、普通に分布。

チョウ

## 食性・他の生物との関わり

流れの中で流下物を濾しとって食べる。  
魚類の餌となる。

樹木

草花  
（在来種）

## 繁殖生態・寿命

産卵はメス成虫が水面に降下し、卵塊を産み落とす。  
一年二化（2回発生）



チラカゲロウ（成虫）（撮影：宮下 力）

草花  
（外来種）

## 興味深い話

■水中で阿波踊りを踊るように腕を振り回すのが観察できる。チラカゲロウは前肢に櫛状に長い毛が生えており、これを流れにさらして、ひっかかる有機物を捕まえて食べる。その様子が阿波踊りのように見える。

■カゲロウは、儚い物の例えにされてきた通り、羽化後の寿命は1時間～2週間（多くが1～2日）と大変短い。そのため、羽化や繁殖行動は一斉に起こる。

哺乳類

## 配慮事項

早瀬・平瀬の存在が重要である。

鳥類  
（水辺）

## 生活サイクル

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
卵期・幼虫期	■											
成虫期					■			■				

鳥類  
（草原・樹林）  
ワシ・タカ

## 参考文献

「アングララーのための水生昆虫フィールドノート」宮下力 出版文化社 2000

「水生昆虫の世界－流水の生態」大串龍一 東海大学出版会 1981

「日本産水生昆虫検索図説」川合禎次 東海大学出版会 1995

「水辺の昆虫」今森光彦 山と溪谷社 2000